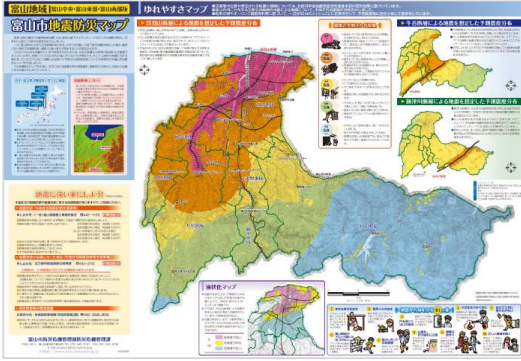
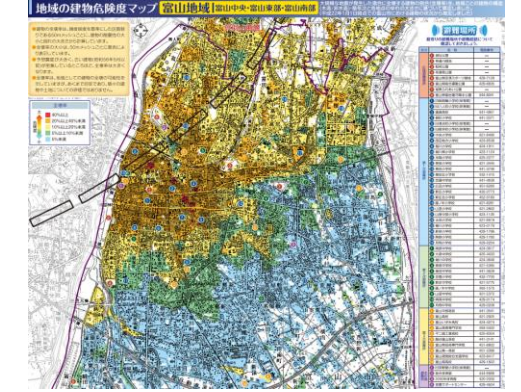
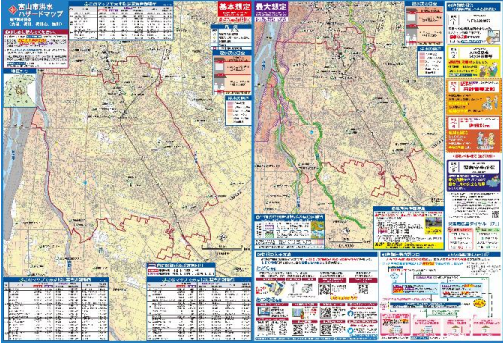
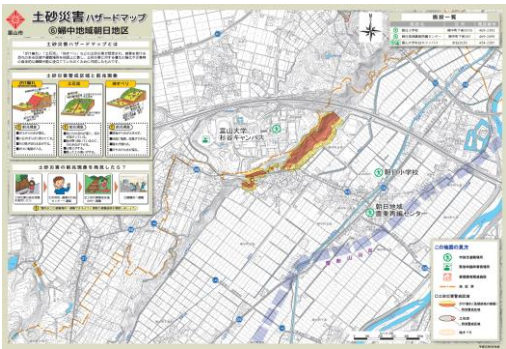
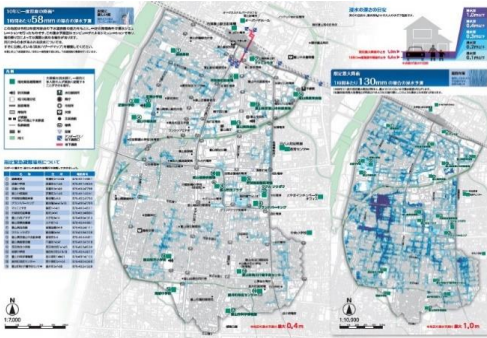
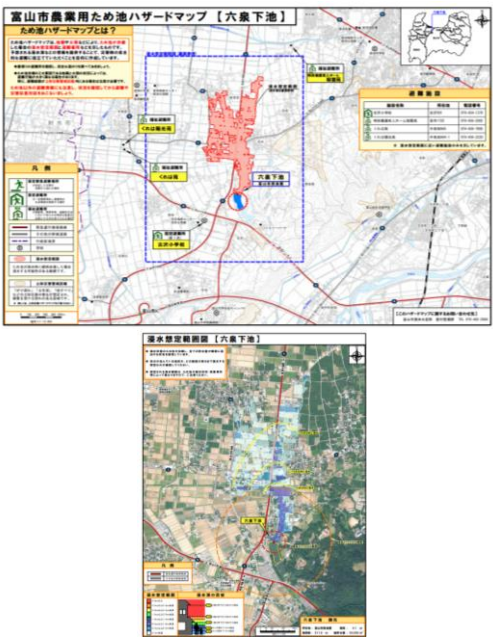


各種ハザードマップの概要について（一覧表）

	名称	概要	所管課	作成時期	マップ例	根拠計画など	備考
1	地震防災マップ	地震防災マップは、富山市全域の予測震度分布を掲載した「①ゆれやすさマップ」と、各地域ごとの建物の全壊率や市の指定避難場所を掲載した「②地域の建物危険度マップ」により構成されている。	防災危機管理部 防災危機管理課	平成22年度	①ゆれやすさマップ 	活断層の位置や想定される地震の規模・・・文部科学省地震調査研究推進本部の研究結果（H22.1）	
					②地域の建物危険度マップ 	建物の全壊率・・・固定資産家屋課税台帳より（H22.1）	
2	津波ハザードマップ	富山県が行った調査結果をもとに作成したもので、津波が発生した場合の浸水状況や避難対象地域、避難方向、緊急避難場所などの必要な情報を掲載している。	防災危機管理部 防災危機管理課	平成24年度 平成30年度改訂		平成24年3月：富山県津波調査研究業務 平成29年3月：富山県が津波浸水想定区域の公表	「最大浸水深」とは、「津波防災地域づくりに関する法律」により指定された断層による津波の最大浸水深を表しています。
3	洪水ハザードマップ	河川が氾濫した場合の浸水状況（想定浸水区域、想定深）や緊急避難場所、避難に関する情報などの情報を掲載している。 付属の冊子には、洪水ハザードマップの解説や避難に関する情報などを纏めて掲載している。	建設部 河川整備課	平成18年度 （最新：令和2年度改訂）		水防法に基づき、洪水予報河川（神通川、常願寺川等）及び水位周知河川（いたち川、土川等）の河川管理者が作成した洪水浸水想定区域図を重ね合わせて、避難場所や避難に関する情報などを記載したマップを作成。 富山市では、水防法に基づく想定最大の降雨（1000年に一度）を対象とした「最大想定」と河川整備の基本となる降雨（30～150年に一度）を対象とした「基本想定」の2種類のマップを掲載。	

	名称	概要	所管課	作成時期	マップ例	根拠計画など	備考
4	土砂災害ハザードマップ	「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などの土砂災害が想定され、被害の受けるおそれのある区域や緊急避難場所、避難に関する情報などを掲載している。	建設部 河川整備課	平成25年度 （最新：令和4年度改訂）		土砂災害防止法に基づき、県が指定した土砂災害警戒区域等を地図上に表示し、避難場所や避難経路などを記載したマップを作成	
5	内水ハザードマップ	マップ面には、大雨により低い土地などで浸水（内水氾濫）が発生した場合の浸水深や対象地域における指定避難場所、地下通路などの必要な情報を掲載している。情報面には、浸水が起こるしくみや雨の降り方の違い、大雨時に発令される気象情報や避難情報の種類などの情報に加え、大雨に備えた日ごろからの活動や大雨時に取るべき行動を掲載している。	上下水道局 下水道課	（当初） 平成24年度 （最終） 令和3年度		「内水浸水想定区域図作成マニュアル」に基づき、計画規模降雨と想定最大規模降雨を対象に詳細シミュレーションを行い、浸水想定区域図を作成	水防法の改正に伴い、想定最大規模降雨を対象降雨に追加（R3年度）
6	ため池ハザードマップ	農業用ため池ハザードマップは、ため池が決壊した場合の浸水想定範囲と、避難場所などを示したものであり、予想される浸水深などの情報を提供することで、災害時の自主的な避難に役立てることを目的としている。	農林水産部 農村整備課 農地林務課	令和2年度		県が作成した浸水想定図をもとに、避難場所を記載した浸水予測図（ため池ハザードマップ）を作成	